

選挙出前トークについて

(1) 目的

未来の有権者である小中高生に対して、選挙に関する講義や模擬投票などを実施し、選挙権を得る前から選挙の重要性を認識してもらう。



(2) 内容

① 講義

選挙制度、選挙の意義、若者の投票行動 など

② 模擬投票

明るい選挙啓発サポーターが候補者となって演説し、投票。

③ 計数器を使った実演

④ 選挙クイズ

⑤ 結果発表、サポーターから児童・生徒へのメッセージ

(3) 実施区分

県 選 管：中学校及び高等学校

市町村選管：小学校

※名古屋市選管は、小学校、中学校、高等学校を実施。



(4) 平成 26 年度実施状況

① 学校数

県選管実施分 7 市町 7 校（中学校 6 校、高等学校 1 校）

市町村選管実施分 15 市 50 校（小学校 44 校、中学校 5 校、高等学校 1 校）

② 対象児童・生徒数

県選管実施分 527 人（中学生 517 人、高校生 10 人）

市町村選管実施分 5,440 人（小学生 3,704 人、中学生 946 人、高校生 790 人）

(5) アンケートに寄せられた意見・感想

- ・選挙は代表を決める大切なことだと分かった。（中学生）
- ・大人になって困らない体験ができ、とても良かった。（中学生）
- ・投票用紙にプラスチックが使われていることを知って、驚いた。（中学生）
- ・選挙のことだけでなく、政治のことについても話してほしかった。（中学生）
- ・今後も活動を続けて、子供たちに自分たちの代表を送り出す意味を理解させてほしい。（保護者）
- ・選挙は国民の意見を反映する場であることを教えてもらった。投票箱は鍵が三つもついて厳重なこと、投票用紙の材質がプラスチックですぐに開くこと、実際の道具を使うことなど、とても良い経験になったと思う。（保護者）
- ・選挙権を持った時に「あの時話を聞いたなあ」と思い出すことで、進んで選挙に出向くようになり、政治に参加することの大切さが分かるようになると思う。（保護者）
- ・実際の投票までにどんな準備があるかを学習できると良い。（保護者）